
ねこの思い出3 「冬に風邪を引く理由」

西宮尚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ねこの思い出3「冬に風邪を引く理由」

【Nコード】

N5743D

【作者名】

西宮尚

【あらすじ】

ねこの思い出18歳8ヶ月で逝ってしまったねことは、いろいろな思い出がある。これは、ねこがうちにきてから、何故私が風邪を引くようになったのか？その理由をつづります。

(前書き)

18歳8ヶ月で逝ってしまったたねこの思い出をつづります。
そのねこは、最高にかわいい容姿と最悪な性格をしていました。

寒い冬は人間と一緒に寝るのに限る。

そう思ったかどうかは知らないが、ねこは寒くなると私と一緒に寝るようになった。

ひねくれたねこのことから、私と一緒に、というよりも、本当は私のベットに付いている電気毛布が狙いなのかも知れない。

ねこと寝るようになって、私はよく風邪を引くようになった。

理由は明確だ。

寒い朝、私は、壁際30センチに追いやられ、布団から半分出た状態になっている。

そして、凍えた私がそこから見るのは、枕をして真ん中で堂々と寝ているねこの姿なのだ。

こんなのねこを退かせばいいじゃない、と、人は言うだろう。私も友人に言われた…

でも、私は、電気を消したら5秒で寝て、朝まで起きない人間。

ちょっと言い訳をさせてもらうと、私は、眠気が耐えられなくなるまで本を読んでいるため、すぐ眠ってしまうのだ。

朝まで何故起きないのか、の理由は不明ではあるが。

そんな私も、ある冬、インフルエンザにかかって三日三晩眠り続けた。

そうになると、さすがに私でも眠れなくなった。

でも、身体はだるいので、休むために横になり電気を消した。

そこで、驚愕の事実気がついたのだ！

その事実とはこうだ。

電気を消して5分。

私の横で寝ていたねこは、おもむろに起き上がり、私のほほに鼻を押し付けた。

ねこの濡れた鼻は冷たい。

私は、思わず顔をそむけた。

そむけて空いた場所に、ねこはグイグイと身体を入れてきた。

その勢いで、私は、枕から頭が落ちた。

ねこは、枕の場所で丸くなった。

そして、その丸くなった場所から、大きく伸びをしたのだ。

その伸びの両手両足は、私の顔に当たっている。

これは、伸びをしているというより、私を端に押しつけている…

今まで、ねこのやることをそのまま受けとめていた私も、そこでようやく抵抗した。

押しのけても動いてやるものか。

何度もグググーツと伸びをするねこは、そこであきらめなかった。

大きくグーツと伸びをしたら、そこで、チョコツとツメを出した。

イテ！ 思わず顔をそむけると、ねこはそこにまた、身体を入れた。

そして…何ということだ！

電気を消して10分。

私は、壁際30センチに追いやられ、半分布団から出た状態になっている！

風邪を引く訳だ…

これに気付いた私は、電気毛布と布団の位置を壁際ぎりぎりまで持つてくるようにした。

そのおかげで、風邪を引く回数は格段に減った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5743d/>

ねこの思い出3「冬に風邪を引く理由」

2011年2月2日14時44分発行